

第二部 事例紹介

東京の川を考える
シンポジウム2005

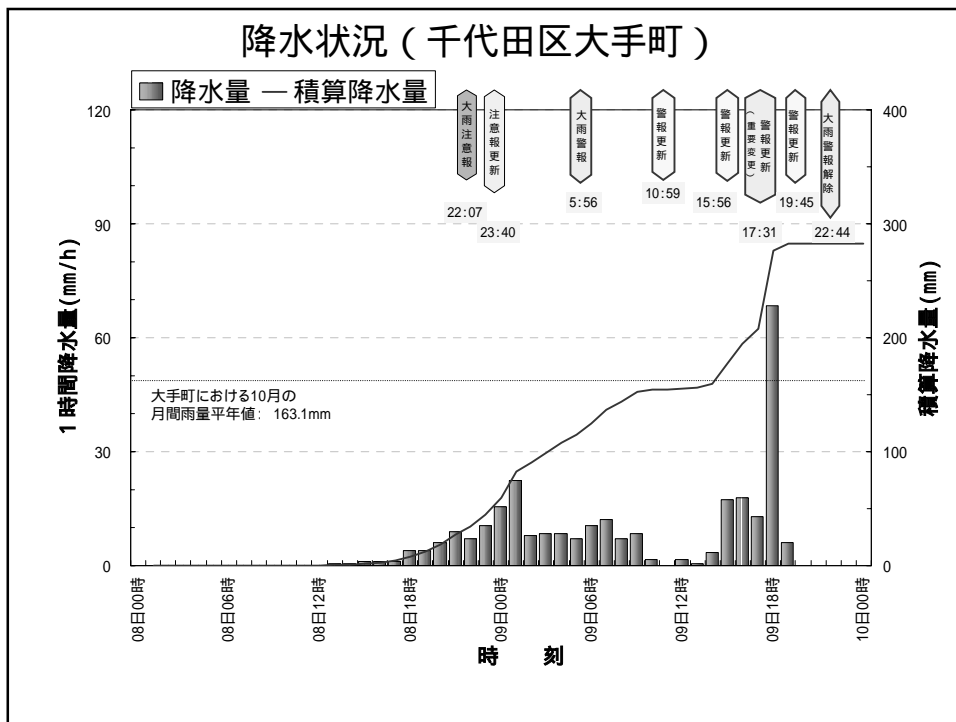
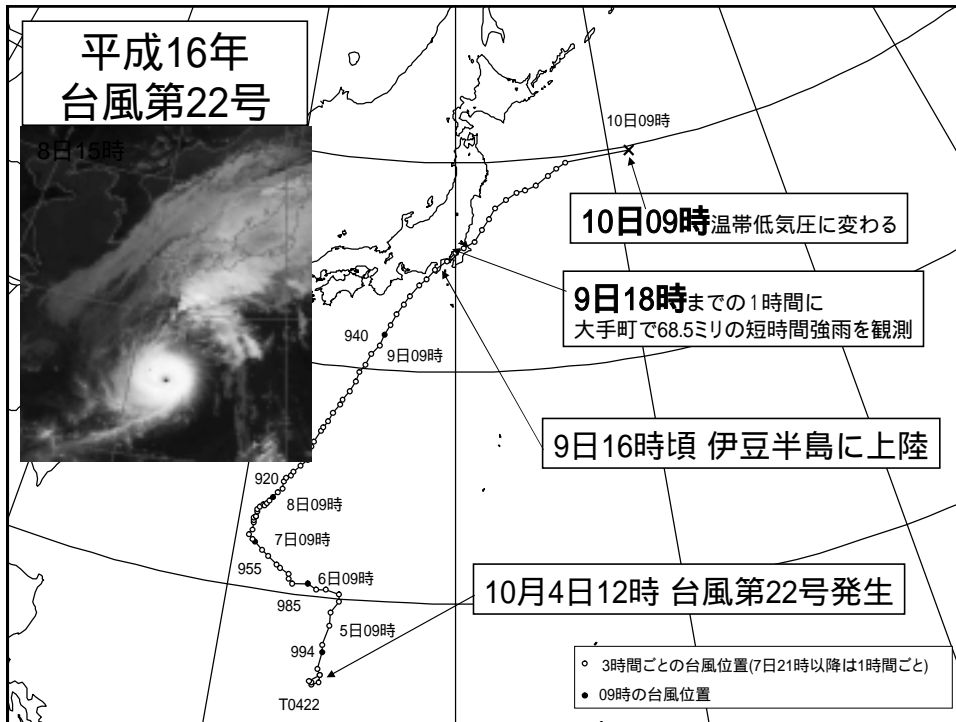
平成17年7月13日

気象から河川をみる

気象庁

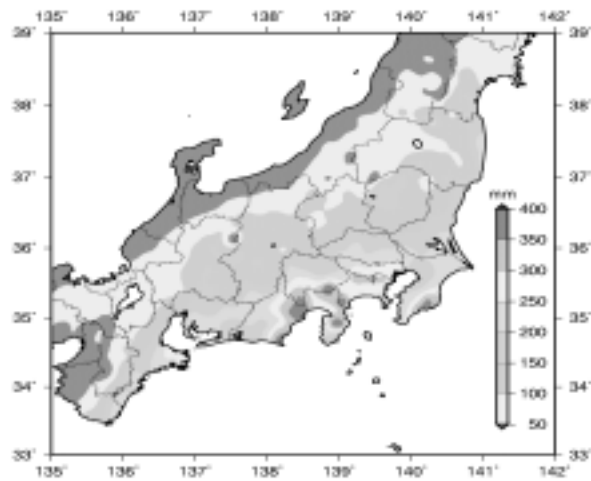
・関東地方で多くの河川が危険な状態となった

平成16年10月8～9日
台風第22号



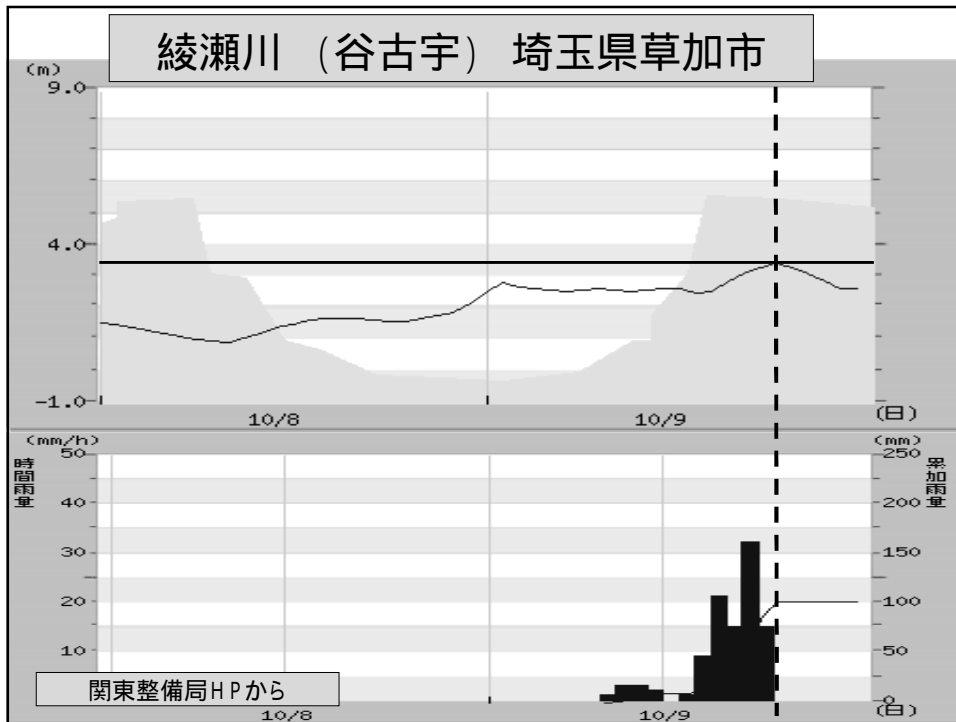
関東甲信・東海で 200ミリを超える大雨

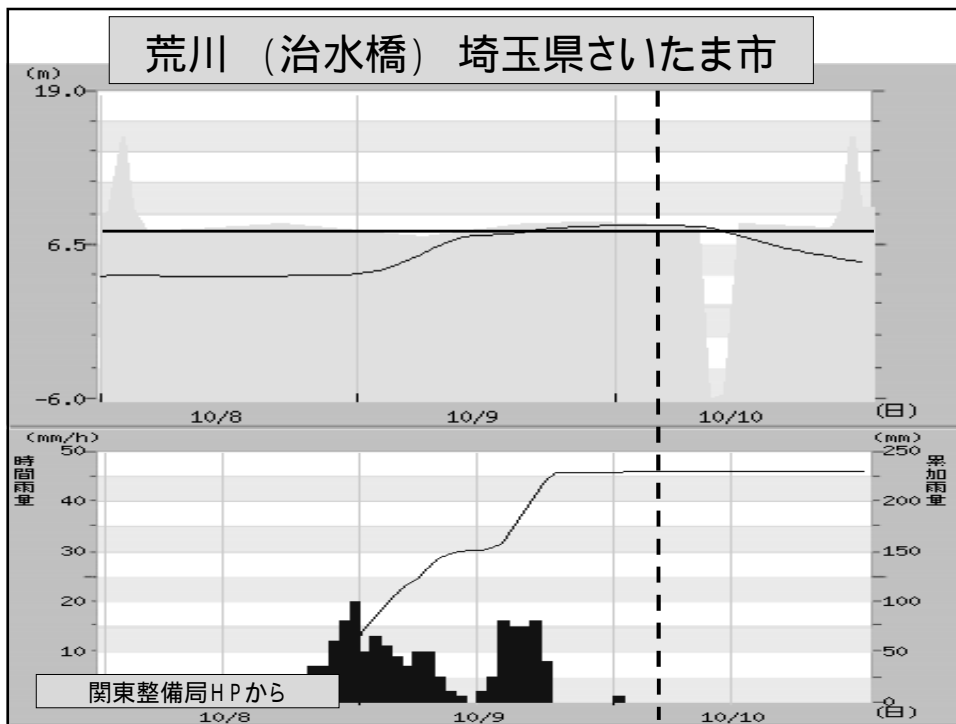
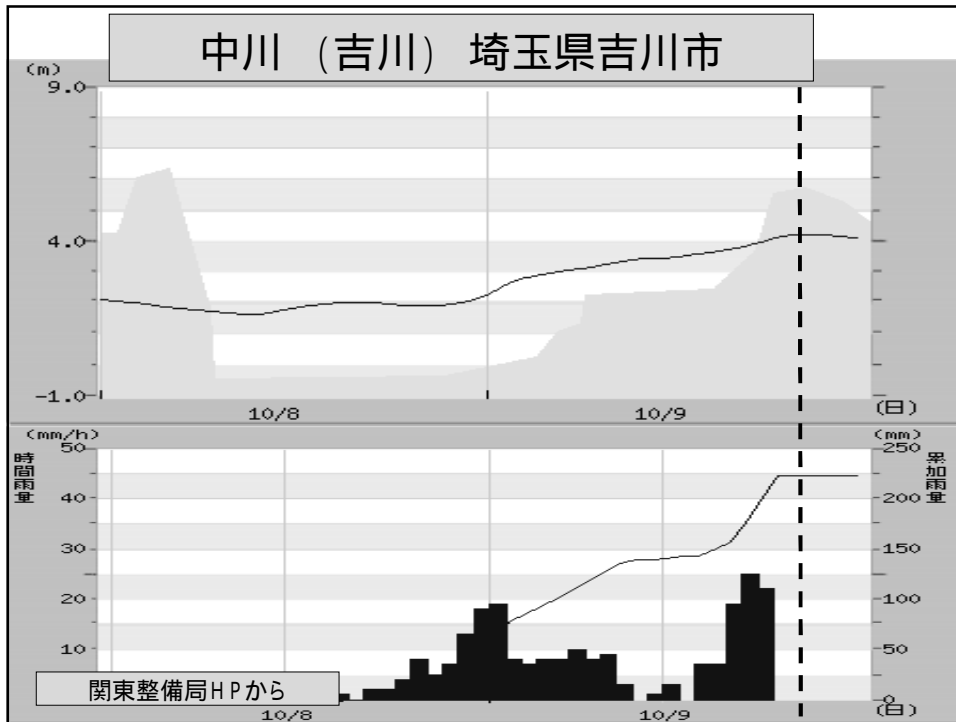
静岡県御前崎 421ミリ 静岡県静岡市清水 397ミリ
神奈川県箱根 395ミリ 千葉県鴨川 361ミリ



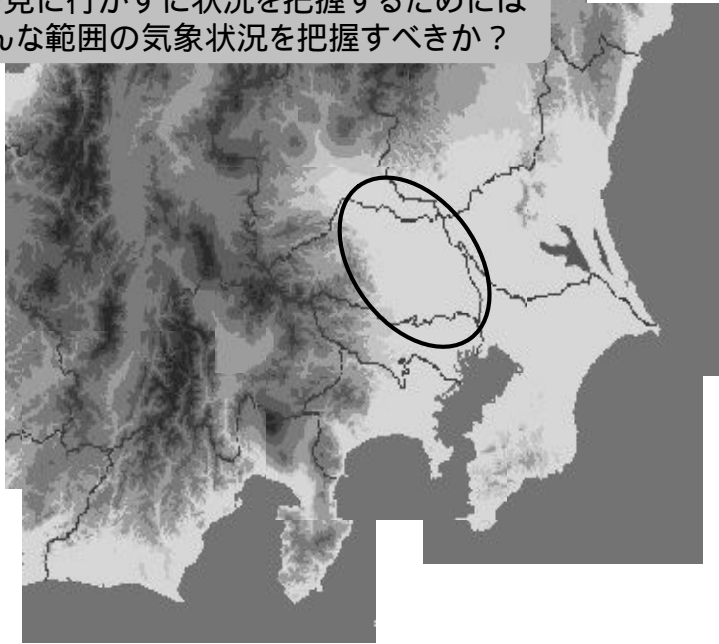
平成16年10月8日0時～10日6時の合計

どのような川が流れているか？



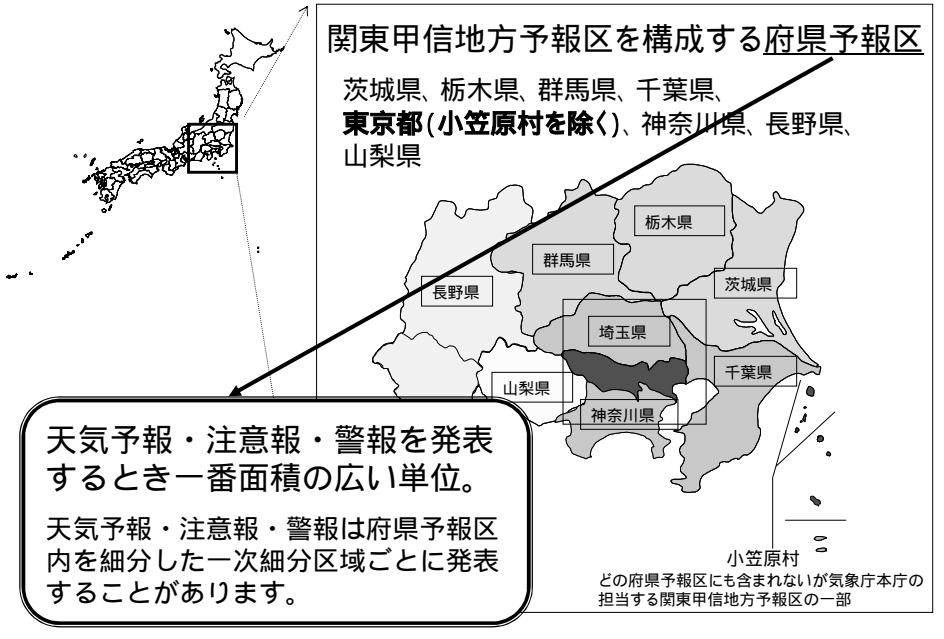


川を見に行かずに状況を把握するためには
どんな範囲の気象状況を把握すべきか？

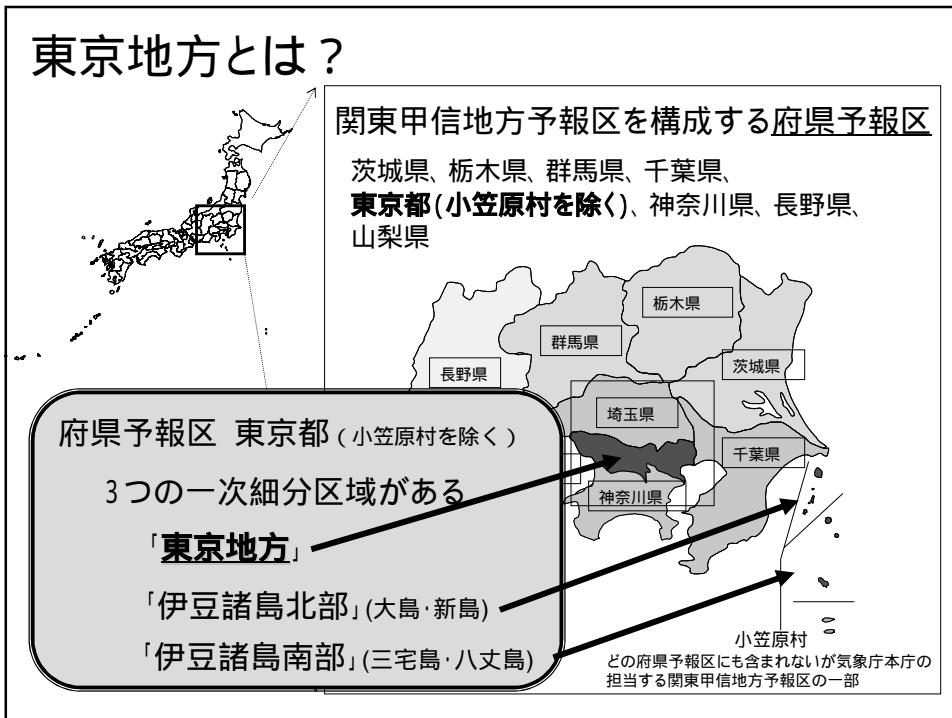


正しく気象情報を見るために

東京地方とは？



東京地方とは？





注意報や警報では・・・

例えば足立区の場合

いずれも
該当！

一次細分区域
東京地方 大雨注意報 洪水注意報
大雨警報 洪水警報

二次細分区域
23区東部 大雨注意報 洪水注意報
大雨警報 洪水警報

自分がどこに該当するかを知っておくことが必要

発表の目安

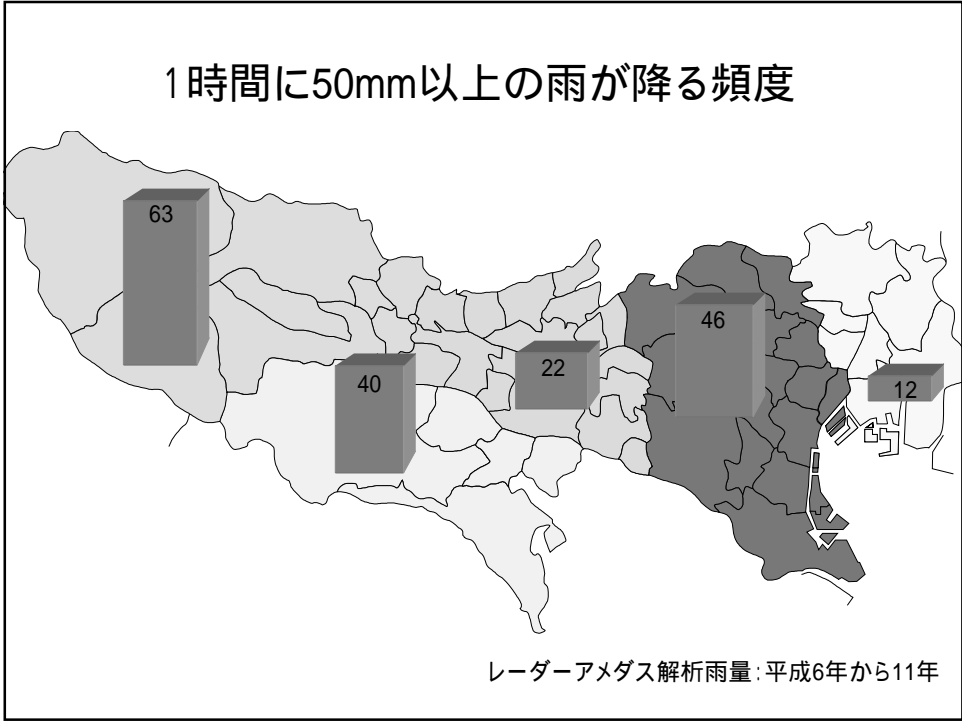
大雨警報・洪水警報の目安 平成15年3月20日15時～

要素	区域名	現基準
1時間雨量	23区東部	50mm
	23区西部	RT80mm
	多摩北部	70mm
	多摩南部	
	多摩西部	
3時間雨量	23区東部	90mm
	23区西部	200mm
	多摩北部	
	多摩南部	
	多摩西部	
24時間雨量	23区東部	200mm
	23区西部	250mm
	多摩北部	
	多摩南部	
	多摩西部	



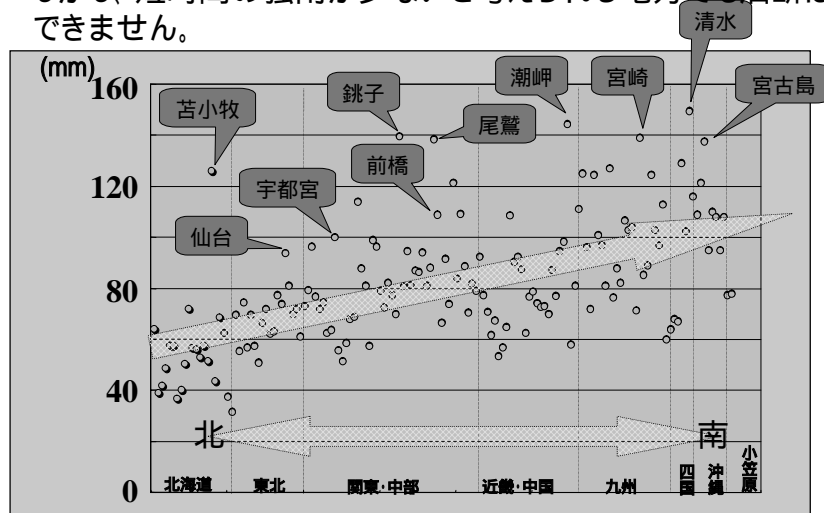
- ・滝のように降る
- ・ゴーゴーと降る
- ・傘は役立たない
- ・視界が悪くなる
- ・車の運転は危険

50ミリの雨は・・・？



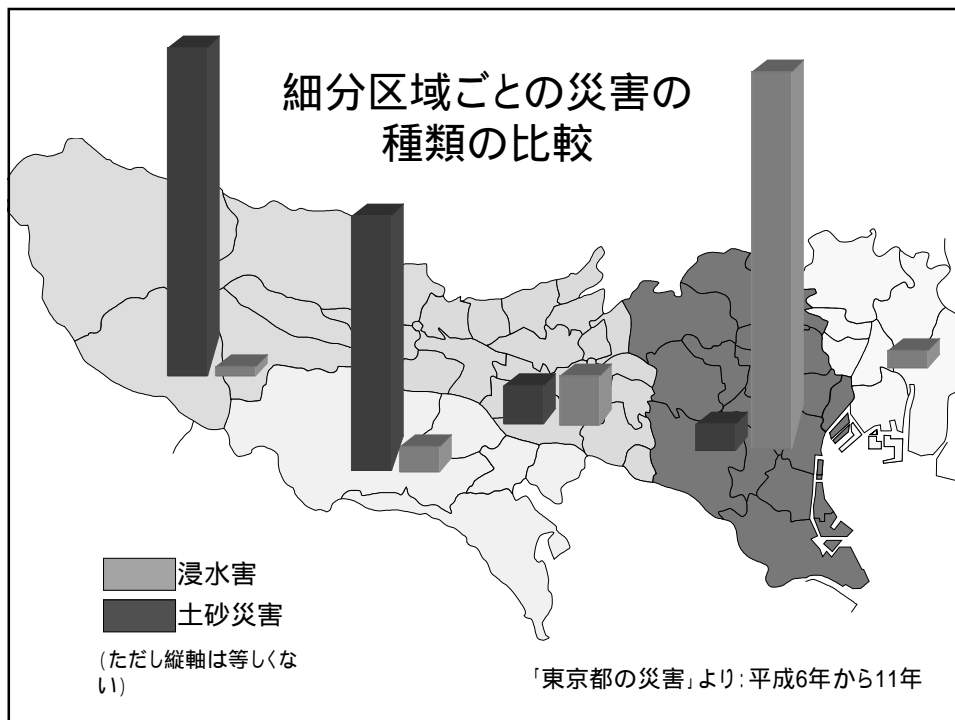
短時間強雨はどこで降るのか

主に西日本や南西諸島で多くなる傾向があります。
 しかし、短時間の強雨が少ないと考えられる地方でも油断は
 できません。

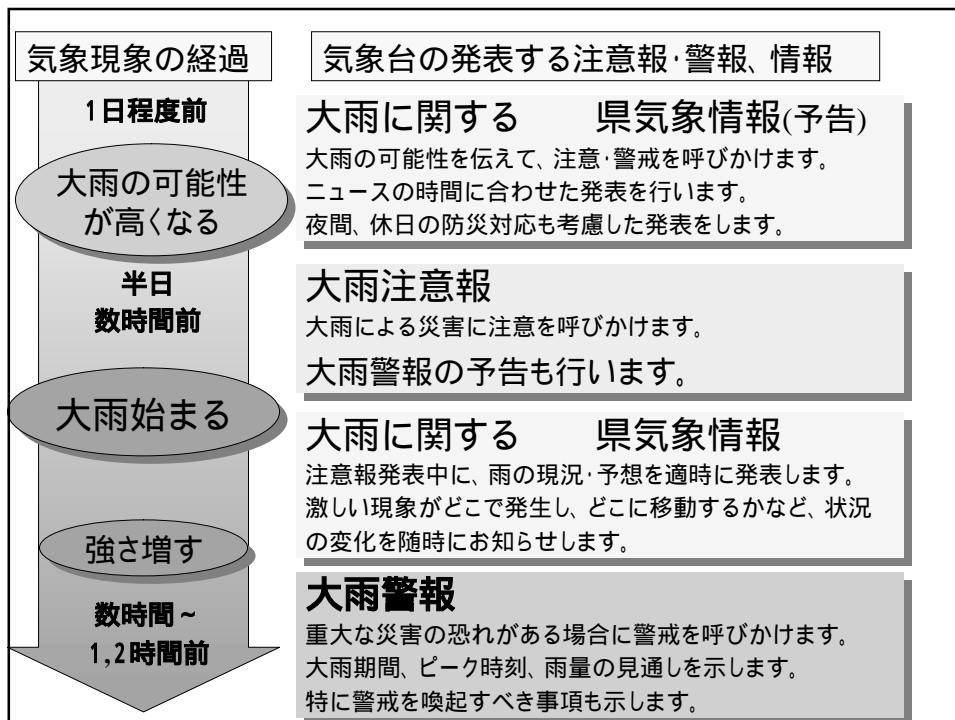


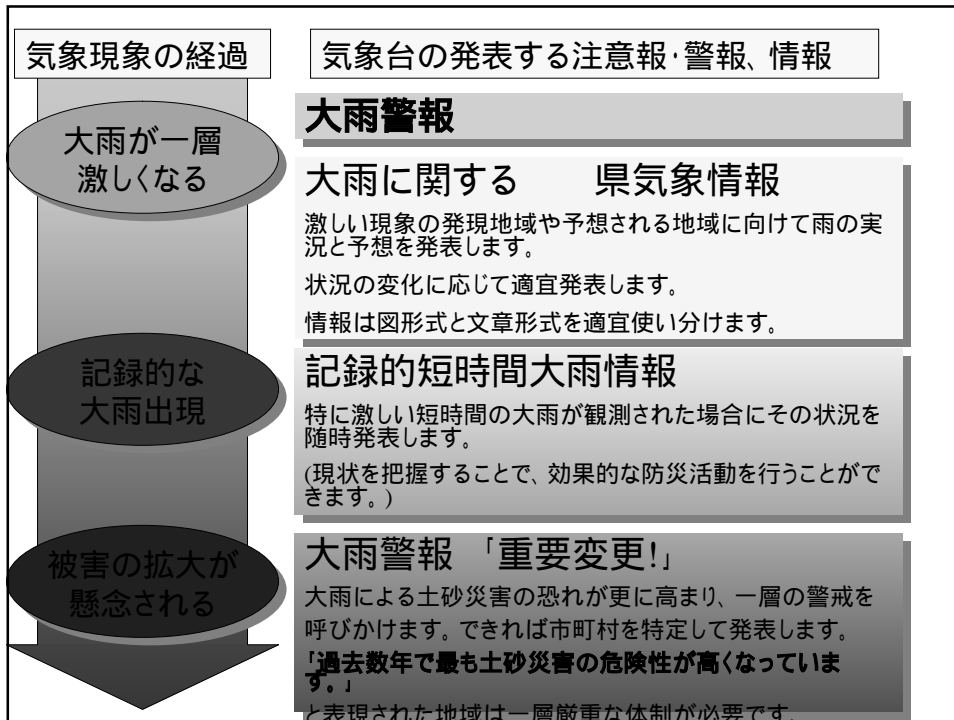
気象台や測候所で観測された最大1時間降水量

細分区域ごとの災害の種類の比較



防災気象情報の種類と流れ





常に最新の防災気象情報を!

